

③女性の参画に向けた取組

【H28調査結果】

白石町福富農地・水・環境保全組織

- 女性の事務員を雇用し、組織の活動記録や経理事務、啓発・普及に向けた広報誌の作成を任せている。
- 各集落に必ず婦人会の委員を1名ずつ配置し、清掃活動や植栽による景観形成に取り組んでいる。

⇒女性を積極的に組織の役員に配置し、きめ細かな視点で、経理事務や広報、景観形成の取組を展開している。



久里地区農村環境を守る会(唐津市)

- 草刈や景観形成の活動には一部女性も参加しているが、(若い方は仕事や育児に追われ、)女性の参加者も高齢化している。
- 「ホタルを守る会」では会長(女性)が、子供会を巻き込み、生態系保全活動に取り組んでいる。

⇒子供の活動には、保護者として母親の参加も多いが、それ以外の活動には、女性の参画は厳しい状況。

北鹿島ふるさと会

- 学校教育と連携して、EM団子づくりや草刈りの補助活動に女性が参画しており、地域への環境に対する意識も高まっている。
- 「集落に流れる水をきれいにしたい。」との思いから、活動に参加しているが、参加者の高齢化もあり、草刈やごみの片づけは、女性には負担が大きい。

⇒活動に対する意識が高い方も多いが、作業内容によっては、身体的な負担が大きいことから、女性の参画が少なくなっている。

・県内においては、少子高齢化により女性の参画が少ない地区が大半を占める状況

・組織の役員に女性を積極的に配置し、男女含めた話し合いにより、女性の想いを実現できる活動の場を提供することが重要